

**市町村指定文化財取材票 《表》**

<b>取材日</b>	2023年	3月	12日	(記入者) 神野一美	
<b>取材参加者</b>	秋山	大谷	神野	鈴木	灰藤
	東辻	本井			
<b>取材対象先</b>	香芝市：念通寺の石造浮彫不動明王立像				

<b>所在地</b>	香芝市今泉736				
<b>所有者(取材 対応者)名</b>	念通寺 (香芝市文化財課 ***氏 ) (個人情報守秘)			連絡先：0745-77-1700	
	PCアドレス				
<b>取材申込</b>	申込先・行政名など：香芝市文化財課				
<b>市町村 指定文化財</b>	彫刻	1 軀	石造浮彫不動明王立像 1994(平成6)年3月29日指定		
	建造物	棟			
<b>文化財指定理由</b>	香芝市の石仏のうち、2番目に古い石仏であること				

**文化財の状況**

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
<b>防火対策</b>	特になし。	不動明王が納まっている不動堂は、コンクリートブロック造で、屋根も鉄筋コンクリートになっているため、火災の心配はないと思われる。
<b>獣害対策</b>	特になし。	扉の格子の大きさも5cm×6cm程度のため、獣はもちろん、大きな鳥なら入り込めないと思われる。
<b>保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策</b>	この石仏の情報は、香芝市文化財課の***氏にお話を伺うことができた。香芝市には古い石仏は多いが、最も古いものから3番目ぐらいまでは文化財として保存し次世代に残していこうという動きがあり、この石仏もそのひとつとして文化財指定になった。この不動明王立像は2番目に古く鎌倉時代初期の製作。屋外にあるとはいえ屋根があり扉も付いているため、石(花崗岩)の風化はこれ以上は進まないと思われる。	

**取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)**

この寺を訪れている間も、駐車場に向かう間も誰とも出会わなかったため、地域の話聞くことはできなかったが、不動堂内部はきれいに手入れがされており、定期的に掃除やお参りをされているのであろう。不動堂内にあるのはすべて石仏であり、このままの形で地域の方に守られて次世代に繋いでいっていただきたい。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	3月	12日	(記入者) 神野一美	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	灰藤
	東辻	本井			
取材対象先	香芝市：念通寺の石造浮彫不動明王立像				

＜写真撮影許可済み＞

文化財指定名 石造浮彫不動明王立像



不動明王立像と頭上にある写真

不動堂



＜拡大＞

文化財の由緒・説明板の有無など

所有社寺や地域（廃寺など）の歴史や特徴等

説明板はないが、香芝市教育委員会製作の2m程度の細い柱状のものがあり、その柱の4面には、文化財名称・年代・指定年月日・石の種類・像高が記載されている。この不動明王は神仏分離令により、念通寺の北にある志都美神社の神宮寺であった明王院からこの寺に移された。格子戸越しに拝見すると、不動明王の陰影が少々わかりづらいが、そのために石像の頭上に写真が掲げられているのだろうか。

念通寺の一角に不動明王の納まる不動堂は建っている。その中には、不動明王立像（市指定文化財）と虚空蔵菩薩坐像のほかにも制多迦童子の3軀が祀られている。不動堂の外にも周辺の地域から集められたと思われる石仏や石塔などの石造物が合祀されており、この地域一帯は石の細工が盛んだったことが感じられる。